

レジメン名	診療科
リツキシマブ	血液内科

適応疾患
B細胞性CD20抗原陽性 非ホジキンリンパ腫

1クール	7 - 21日
総クール	6 ~ 8クール（維持の場合は規定なし）
休薬期間	6 - 20日間

薬剤名（一般名）	投与量（mg/m ² ）	投与日（d1 ~ d5、d1、d8等で記入）
リツキシマブ	375mg/m ²	d1

内服併用薬	投与量	用法	投与日（d1 ~ d5、d1、d8等）
アセトアミノフェン200mg	2錠	分1	d1（リツキシマブ投与30分前）
ポララミン2mg	1錠	分1	d1（リツキシマブ投与30分前）

処方（輸液・プレメジ・ポストメジを含む）

番号	薬剤名・用量（mg/m ² ）	投与方法	投与時間	投与日（d1 ~ 5等）
①	リツキシマブ375mg/m ² + 生食（対応量）	DIV	下記参照	d1
②	生食 50mL（フラッシュ用）	DIV	10分	d1
③				
④				
⑤				
⑥				
⑦				

備考（減量・中止の基準を記載してください）

初回投与時は、最初の30分は50mg/時の速度で点滴静注を開始し、患者の状態を十分観察しながら、その後注入速度を30分毎に50mg/時ずつ上げて、最大400mg/時まで速度を上げることができる。また、2回目以降の注入開始速度は、初回投与時に発現した副作用が軽微であった場合、100mg/時まで上げて開始し、その後30分毎に100mg/時ずつ上げて、最大400mg/時まで上げることができる。なお、患者の状態により、注入開始速度は適宜減速すること。

生理食塩水で10倍に希釈調製し使用する